

第3・4学年 国語科学習指導案

日時：平成26年10月 9日（木）5校時
児童：第3学年 男子0名 女子1名 計1名
第4学年 男子3名 女子1名 計4名
指導者：石垣 修一

<第3学年>

- 1 単元名 民話や物語の組み立てを考えよう
中心学習材 三年とうげ
(光村図書下 あおぞら)

2 単元について

(1) 児童について

児童は、国語の学習に意欲的で、与えられた課題にじっくりと取り組んだり、発問に対してよく考えて答えたりしている。

児童はこれまでに、登場人物の行動を中心に場面の様子を読み取ること、二つの場面を比べ、その移り変わりに注意して物語を読むことを学習してきている。また、「民話や物語の組み立て」についての学習は初めてであるが、話の骨格をつかむ学習や「はじめ・中・おわり」の文章構成、「中」で出来事が起こる型、どんな出来事があり、結末はどうなったかを読み取る学習などを経験してきている。

しかし、物語の組み立てをとらえたり、登場人物の変化や情景を想像して自分の言葉で表現したり、相手に伝わるようにいろいろな表現を使って話したりすることには苦手意識があり、まだ十分な力は身に付いていない。

以上の実態から、本単元を通して、児童が物語を読んで、物語の組み立てをとらえる力を身に付けられるようにしたい。さらに、とらえた物語の組み立てを基に、登場人物の変化や情景を想像しながら読む力も身に付けられるようにしたい。

(2) 中心学習材について

本単元は、物語を読み、組み立てについて考え、整理することで、物語の組み立てを学ぶことを主たる目的としている。

本学習材は、朝鮮半島に伝わる民話である。民話独特の語り口には楽しいリズムがあり、朝鮮半島の農村の雰囲気や存分に表現した挿絵もあることで想像を膨らませながら読み進めることができる。ちょっとした機転で不幸を幸せに転じたとんち側の側面もあり、昔の人々のおおらかな心情が伝わってくる作品である。また、物語の四つの組み立てがはっきりしていて、事件の発生や事件が解決していく過程

<第4学年>

- 1 単元名 物語を読んで、感想文を書こう
中心学習材 三つのお願い
(光村図書下 はばたき)

2 単元について

(1) 児童について

児童は、国語の学習にとっても意欲的で、友達の考えをよく聞いて、自分の考えをつけ足して話したり、自分たちの考えを出し合い、話し合いによってよりよい考えにまとめたりしようとする姿勢が見られる。

児童はこれまでに、場面の構成要素や、行動や会話から人物の気持ちをとらえること、題名やキーワードに注目しながら人物の性格や気持ち、場面の情景を想像しながら読むことを学習してきている。また、物語を読んで感想を話したり書きまとめたりする活動を繰り返し行ってきている。

しかし、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読んだり、読んで考えたことを発表し合い、感じ方の違いに気付いたりする力は一人一人に十分に付いているとはまだ言えない。

以上の実態から、本単元を通して、児童が登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読む力を身に付けられるようにしたい。また、読んで考えたことを発表し合い、感じ方の違いに気付く力についても身に付けられるようにしたい。

(2) 中心学習材について

本単元は、物語を読んで、感想文を書くことで、児童が自分の思いや考えを見つめ直すとともに、作品そのものにより向き合い、理解を深めることを主たる目的としている。

本学習材は、アメリカを舞台に、一セント硬貨がかなえるという三つの願いをめぐって、等身大の少女と少年の人間関係が描かれた作品である。一人称の視点で書かれているため、主人公の心情が地の文・会話文に直接的に表れていて、行動や会話から人物の性格や気持ちを想像しながら読み進めることができる。そこで、願いがかなうごとに変化して

での登場人物の気持ちの変化がわかりやすく描かれている。さらに、対句的に表現された美しい眺め、調子のよい言い伝えなどにより、児童が楽しみながら場面の情景を思い浮かべることができるようになっている。

そこで、本単元を貫く言語活動として、民話や昔話のおもしろさを「お話の家」で紹介することを位置付けた。民話や昔話のおもしろさを紹介するためには、場面の組み立てを考えながら読んだり、登場人物の様子や気持ちの変化について叙述を基に想像しながら読んだりすることが大切となる。このことで、「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと」（C 読むことウ）を確実に実現できるようにしている。

3 単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・物語の組み立てに興味をもち、民話や昔話を読もうとする。

【読むこと】

- ・物語がどのように組み立てられているかを考え、整理しながら読んで、登場人物の気持ちの変化を推測することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・文章中で使われている言葉に着目し、表現するための語句を増やすことができる。

4 単元の評価規準

国語への関心 ・意欲・態度	・物語の組み立てに興味をもち、民話や昔話を読もうとしている。
読む能力	・物語がどのように組み立てられているかを考え、整理しながら読んで、登場人物の気持ちの変化を推測している。
言葉についての知識・理解・技能	・文章中で使われている言葉に着目し、表現するための語句を増やしている。

いく主人公の心の変化を、叙述に即して読み取らせたい。また、等身大の友達関係を描くことで、友達との関係を、大切なものだと改めて感じさせ、自分の周りの人間関係を大事に思う心を養うことができる作品になっている。

そこで、本単元を貫く言語活動として、物語を読み、伝えたいことを感想文にまとめて交流することを位置付けた。物語を読んで、感想文を書くことにより、心に残る文章と自分の経験や考えとを結び付けながら想像力を働かせながら文章を読むことができる。このことで、「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと」（C 読むことウ）を確実に実現できるようにしている。

3 単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・自分の体験と重ね合わせながら物語を読もうとする。

【読むこと】

- ・地の文などから登場人物の性格について考え、整理することができる。
- ・読んで考えたことを交流し、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

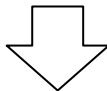
- ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて文章を読むことができる。

4 単元の評価規準

国語への関心 ・意欲・態度	・自分の体験と重ね合わせながら物語を読もうとしている。
読む能力	・地の文や会話文から登場人物の性格について考え、整理している。 ・読んで考えたことを交流し、一人一人の感じ方の違いに気付いている。
言葉についての知識・理解・技能	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて文章を読んでいる。

5 単元の指導計画
 3年生（全6時間扱い）
【身に付けさせたい力】

○物語を読み、物語の組み立てをとらえる力。
 ○登場人物の変化や情景を想像しながら読む力。



【単元を貫く言語活動】

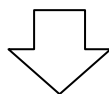
民話や昔話のおもしろさを「お話の家」で紹介しよう。

次	時	学習活動	評価
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに読んだり聞いたりした民話や昔話を発表する。 ・学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・読み聞かせのCDを聞き、初発の感想を書く。 	【関】 いろいろな国に民話や昔話があることを知り、民話や昔話を進んで読もうとしている。 (発表・観察)
2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・三年とうげを通読し、四つの場面の組み立てを考える。 	【読】 三年とうげの組み立てを読み取っている。 (ワークシート・発表)
	3 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・三年とうげのおもしろさを考える。 	【読】 おじいさんの様子や気持ちの変化、トルトリの言葉など三年とうげのおもしろさを読み取っている。 (ワークシート・発表)
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・心に残った言葉や表現を引用し、感想を書く。 	【言】 文章中で使われている言葉に着目し、表現するための語句を増やしている。 (ワークシート・発表)
3	5 ・ 6	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに読んだ民話や昔話で、同じような組み立てのものがないかを考える。 ・図書室などで、民話や昔話の本を探して読み、組み立てやおもしろさを「お話の家」で紹介する。 	【関】 いろいろな民話や昔話を進んで読もうとしている。 (読書生活・観察) 【読】 自分の選んだ民話や昔話の組み立てを考えながら読んだり、おもしろさを見つけたりしている。 (お話の家・発表・観察)

4年生（全9時間扱い）

【身に付けさせたい力】

- 登場人物の性格や気持ちの変化，情景などについて，叙述を基に想像して読む力。
- 読んで考えたことを発表し合い，感じ方の違いに気付く力。



【単元を貫く言語活動】

物語を読み，伝えたいことを感想文にまとめて交流しよう。

次	時	学習活動	評価
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を設定し，学習計画を立てる。 ・読み聞かせのCDを聞き，初発の感想を書く。 	<p>【関】自分の体験と重ね合わせながら物語を読もうとしている。</p> <p>（発表・ワークシート・観察）</p>
2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「三つのお願い」を通読し，場面の設定や物語の展開をとらえる。 ・三つのお願いとその結果を確かめる。 	<p>【読】登場人物の会話や行動から，場面とその移り変わりをとらえている。</p> <p>（ワークシート・発表）</p>
	3 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・地の文や会話文に着目して読み，ノービィの性格について考える。 ・ノービィと自分の似た体験について考える。 	<p>【読】地の文や会話文からノービィの性格について，叙述を基に想像して読んでいる。</p> <p>（ワークシート・発表）</p>
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地の文や会話文に着目して読み，ビクターやお母さんの性格について考える。 ・ビクターやお母さんと自分の似た体験について考える。 	<p>【読】地の文や会話文からビクターやお母さんの性格について，叙述を基に想像して読んでいる。</p> <p>（ワークシート・発表）</p>
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・心に残った場面や表現，強く思ったこと，考えたことについてその理由を考える。 	<p>【読】心に残った場面や表現，強く思ったこと，考えたことについてその理由を考えている。</p> <p>（ワークシート・発表）</p>
3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・資料「やさしい心」を読み，感想文の書き方の構成を確かめる。 	<p>【言】文の構成について初歩的な理解を持っている。</p> <p>（ワークシート・発表）</p>
	7 ・ 8 ・ 9	<ul style="list-style-type: none"> ・使う言葉や文章の組み立て，書き出しなどを工夫して感想文を書く。 ・感想文を推敲し，よりよい文章に仕上げる。 ・友達と感想文を読み合い，感想を伝え合う。 	<p>【読】読んで考えたことを交流し，一人一人の感じ方の違いに気付いている。（発表・観察）</p> <p>【言】言葉には，考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて文章を読んでいる。（感想文・観察）</p> <p>【言】理解するために必要な語句を増やし，また，語句には性質や役割の上で類別があることを理解している。（感想文・発表・観察）</p>

6 本時の指導 (3/6)

(1) 目標

おじいさんの様子や気持ちの変化, トルトリの言葉など三年とうげのおもしろさを考えることができる。

(2) 評価規準

おじいさんの様子や気持ちの変化, トルトリの言葉など三年とうげのおもしろさを読み取っている。

<支援の必要な児童への手立て>

おじいさんについての叙述を比較させることで, 児童がおじいさんの様子や気持ちの変化を読み取らせたり, トルトリの言葉に目を向けさせたりする。

(3) 本時の指導にあたって

【言語活動の工夫について】

児童が間接指導を行う際, 見つけたおもしろさをワークシートに記入させることで, 児童がおもしろさを捉えやすくなるようにしたい。また, 本時の学習の中で, 並行読書をしている本の中から自分が紹介したい民話について, 同内容の学習をもう一度行わせることで, 児童が学んだことを活用する力を身に付けられるようにしたい。

【小規模校の特色を生かした工夫について】

児童が1名しかいないため, 話し合い活動によっておじいさんの様子や気持ちの変化をとらえたり, 他者の考えを基に学習を深めたりすることが難しい。そこで本時は, 三年とうげのおもしろさについて, 児童が見つけたことに加え, 教師から違ったおもしろさを提示することで, 児童の読みを広げられるようにしたい。また, 児童の相手に伝わるようにいろいろな表現を使って話すことが苦手という実態を踏まえ, 学習したことを, 4年生に紹介する活動を行う。そうすることで, 児童に相手意識を持って表現させる機会を設けると共に, 「お話の家」を作成していく上での意欲付けとなるようにしたい。

6 本時の指導 (3/9)

(1) 目標

地の文や会話文に着目して読み, ノービィの性格について考えることができる。

(2) 評価規準

地の文や会話文からノービィの性格について, 叙述を基に想像して読んでいる。

<支援の必要な児童への手立て>

児童と一緒にノービィの会話や行動, ノービィに関する表現について確認し, ノービィの性格をとらえられるようにする。


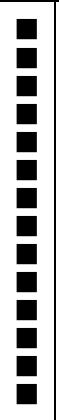
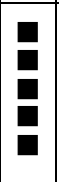

(3) 本時の指導にあたって

【言語活動の工夫について】

児童が間接指導時にリーダーを中心に見つけたノービィの会話や行動, ノービィに関する表現に, 付箋を貼る一人学びを行う。そうすることで, 児童がノービィの性格をつかむための手立てとなるようにしたい。また, ノービィと自分の似た体験について考えさせることで, 作品に向いていた視点を自分自身に向けさせ, 感想文を書く学習につなげられるようにしたい。

【小規模校の特色を生かした工夫について】

児童が4名という少人数を考えたとき, 一人一人が自分の考えを発言するチャンスがあり, お互いの考えのわからないところを聞き合うことができるよさがある。そこで本時は, 間接指導時にリーダーを中心にノービィの性格について考えたことを交流させ, どうしてそう思ったのか, 根拠となる叙述を基に話し合う活動を行う。そうすることで, 自分達で感じ方の違いに気付くことができるようにしたい。また, 学習したことを, 3年生も含めて交流することで相手を意識した話し方を考えさせたり, 他者の学びを知り, 学習を更に振り返ったりできるようにしたい。

<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を生かして一人学びを進められるようにする。 ・学習したことは、「お話の家」に用いることを伝える。 ・児童が、相手に聞きやすい声の大きさや速さを意識して話せるように声をかける。 	<p>○自分が紹介したい民話のおもしろさを考える。</p> <p>3 学習を振り返る。 ・三年とうげのおもしろさを紹介する。</p>					<p>3 学習を振り返る。 ・ノービィと自分の似た体験を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、相手に聞きやすい声の大きさや速さを意識して話せるように声をかける。
<ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返り、次時の予告をする。 	<p>4 次時の予告をする。</p>	<p>終末 (5分)</p>			<p>終末 (5分)</p>	<p>4 次時の予告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返り、次時の予告をする。

(5) 板書計画

《 3 年 》 (補助黒板)

民話や昔話のおもしろさを「お話の家」で紹介しよう。

三年とうげ リ 李 クム 錦 オキ 玉 オキ 作

課題
三年とうげのおもしろさを考えよう。

○三年とうげのおもしろさを

おもしろいと思ったところ	おもしろさ

○自分がえらんだ民話のおもしろさを考え、シートにまとめましょう。

「
」のおもしろさ

- ・おじいさんの様子や気持ちのへんか
- ・トルトリの言葉
- ・三年とうげの言いつたえ
- ・物語の組み立て
- ・歌のリズム
- ・表げんや言葉

《 4 年 》

物語を読み、伝えたいことを感想文にまとめて交流しよう。

三つのお願い ル ルシー ル クリフトン 作

課題
ノービイの人がらについて考えよう。

○ノービイの人がらを考えよう

- ・さびしがりや
- ・しんちような
- ・おこりっぽい
- ・思ったことをすぐ口にする
- ・すなおな
- ・友達思いな
- ・ときどきいじわる
- ・自分で反省することが出来る

↓

わたしは…

ノービイは ()

だと思ふ。

○ノービイと自分の似た体験について考えよう。 ※二百字でい度で

例① 小さなことがきっかけで、
友達とケンカをした体験。

② けんかをした相手と
仲直りをした体験。

③ 身近な人の言葉に
心を動かされた体験。

